

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/15～7/19

## ・ 7/15(月)

対韓輸出規制の強化、参議院選挙、中国の GDP 成長率が最低水準になどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、対韓輸出規制の強化、参議院選挙については他の放送日とのあわせての評価が必要と考えられるものでした。

## ・ 7/16(火)

日韓関係、投票率、トランプ大統領の発言、サンマの資源管理をめぐる国際会議などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、日韓関係、トランプ大統領の発言については他の放送日とのあわせての評価が必要と考えられるものでした。

## ・ 7/17(水)

日韓関係、ホルムズ海峡の有志連合、アメリカ下院がトランプ大統領に非難決議、EU 委員長に女性、【異論反論】#日韓関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題は見られませんでした。また、日韓関係については、印象操作の観点から検証する際に今回の取り上げ方は参考になりうるものであった。また、【異論反論】#日韓関係については検証者の所感を記しました。

## ・ 7/18(木)

徴用工訴訟問題、参議院選挙、トランプ大統領の女性議員攻撃、内閣改造・党役員人事改革などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、参議院選挙については放送法の観点からは問題と考えられる場面が見られました。

## ・ 7/19(金)

日韓請求権問題、有志連合説明会が開幕などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題は見られませんでした。また、参議院選挙前最後の平日であるにも関わらず選挙について取り上げていなかった番組の作りについて疑問を覚えたとの旨の検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月15日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：対韓輸出規制の強化、参議院選挙、中国のGDP成長率が最低水準に		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記録的な日照不足</li> <li>・ 世界各地で異常気象</li> <li>・ 対韓国輸出規制の強化</li> <li>・ 参議院選挙</li> <li>・ 賞金総額は1億円～Eスポーツ熱狂</li> <li>・ 中国GDP成長率が最低水準に</li> <li>・ 熊本の逃走男が福岡県駐在所に出頭</li> <li>・ スポーツ報道</li> <li>・ 【異論反論】#e スポーツは“スポーツ”？</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対韓輸出規制の強化：他の放送日とのあわせての判断が必要</li> </ul> <p>小川キャスターの「さて変わりました、続いては解決の糸口が見えないどころかもつれているような気がします。韓国への輸出規制への問題です、今日ムン・ジェイン大統領がこの問題について再び言及しました。日本経済に大きな被害を与える、これまでにない強い言葉で日本に警告です。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「今日午後、韓国大統領府での会議ムン・ジェイン大統領が用意した現行には日本への痛烈な批判の言葉が並んでいました。」</p> <p>ムン・ジェイン大統領「歴史への逆行」</p> <p>ムン・ジェイン大統領「一方的な措置」</p> <p>ムン・ジェイン大統領「重大な挑戦だ」</p> <p>ナレ「特にムン大統領が強調したのが経済への影響です、日本政府が輸出規制を強化した半導体の材料は韓国経済にとって核心的な分野だと強調した上で、」</p> <p>ムン大統領「今回の日本の輸出制限措置は、相互依存と矯正で半世紀の間蓄積されてきた韓日経済協力の枠組みを破るものだ。韓国経済が一段高い成長を図る、その時期に成長を遮ったも同然だ。」</p> <p>"ナレ「そして、今後は日本への依存から抜け出すために輸入先の多角化や国産化を進めると宣言しました。」</p> <p>ムン大統領「結局は日本経済により大きな被害を与えるものだと警告しておく。」</p> <p>"デモ「日本製品を売らないぞ！ 売らないぞ！ 売らないぞ！」</p> <p>ナレ「日本大使館前では今日も日本製品の販売中止を訴えるデモが、日本製のビールや飲み物をゴミ箱に流し込みました。」"</p>		

ナレ「先週金曜日、初めて開かれた事務レベルの会合でも日韓のすれ違いは明らかでした。あくまで事務的な説明の場であることを強調する日本側」

"ナレ「しかし、韓国メディアからは。」

韓国 YTN テレビ「テーブルの後ろの床にはゴミが散見される。部屋の隅には椅子や折りたたみテーブルが無造作においてある。」

ナレ「日本側の対応について批判的に補導しました。」 "

ナレ「さらに会合でどういうやり取りがあったのかについても日韓双方の説明は食い違っています」

日本側「韓国側は措置の撤回を求めなかった。」

"ナレ「しかし、韓国側は」

韓国側「我々は撤回を要求した。」

ナレ「今回の措置の撤回を要求したと報道陣に説明したのです。」 "

"ナレ「これを受け日本側は週末急遽反論会見を設定」

岩松潤（経産省貿易管理課課長）「問題提起についてはあったんですが、撤回を求めたという明確な発言までは得られていません。」 "

"ナレ「すると、韓国側は」

パク・ギョン（韓国産業通商資源省報道官）「日韓の議事録を見れば、我々が明確に原状回復を要求したのは明らかだ。」

ナレ「撤回という言葉ではなく原状回復という言葉を使い、規制をもとに戻すよう求めた、と主張しました。」 "

ナレ「また、先週の会合で、日本側は今回の輸出規制の強化は徴用工問題への対抗措置ではないことを主張しました。」

"ナレ「しかし、今日、ムン大統領は」

ムン大統領「過去の問題を経済問題と連携させたことは、両国関係発展の歴史に逆行する非常に賢明ではない措置という点を先に指摘します。」

ナレ「日本政府が徴用工問題と経済の問題を関連付けていると批判したのです。」

ムン大統領「日本政府は何の外交的協議や努力をすることなく一方的な措置を電撃的に取りました、日本製腐敗一方的な圧迫をやめてすぐに外交的解決の場に戻ってきてください。」

ナレ「外交的な協議を日本側に促したムン大統領。」 "

ナレ「しかし、元徴用工訴訟を巡ってはそもそも日韓請求権協定に基づく協議に韓国側が応じなかった経緯があり日本側の反発は必至です。」

VTR を受けてスタジオおよび中継との間では以下に朱記したやり取りが繰り広げられていた。

"小川彩佳「ここで、ソウル支局の曾根支局長に聞きます。曾根さん、ムン・ジェイン大統領の今日の発言ですけれどもその背景にはどういった事があるのでしょうか。」

曾根英介「はい、強気な発言は先週からの動きを受けてのものだと言えます。韓国政府の内部では当初、今回の日本側の措置が参議院選挙を意識したもので、参院選が終われば日本側は態度を軟化させるだろう、という楽観的な見方が少なからずありました。ところが、韓国大統領府の関係者によりますと、先週の事務レベル会合で日本側の説明を聞いてこれは本気だ、と。問題は長期化しそうだとの判断に傾いたということです。長期化すれば

するほど韓国経済にとって痛手ですし、日本に主導権を握られないためにも強い発言にでたといいいます。」

小川彩佳「なるほど、そのうちよい発言には韓国世論の影響というものはあるのでしょうか。」

曾根英介「そうですね、あの一定程度あると思います。最新の韓国・韓国の世論調査によりますと日本に好感を持てると応えた人は最低のですね、過去最低の 12%にとどまりました。さらに先週、東京で開かれた事務レベル会合が殺風景な部屋で行われたことを受けて、韓国メディアは倉庫会合、倉庫会合と表現するなど日本側の対応の冷たさを報じ、日本に反発する韓国市民も少なくありません。ムン・ジェイン大統領はこうした世論を意識したとも言えそうです。」

小川彩佳「曾根支局長の報告でした。韓国の世論も大きく影響しているようですけれども星さん、一方の日本側日本政府はどうこの発言を受け止めているのでしょうか。」

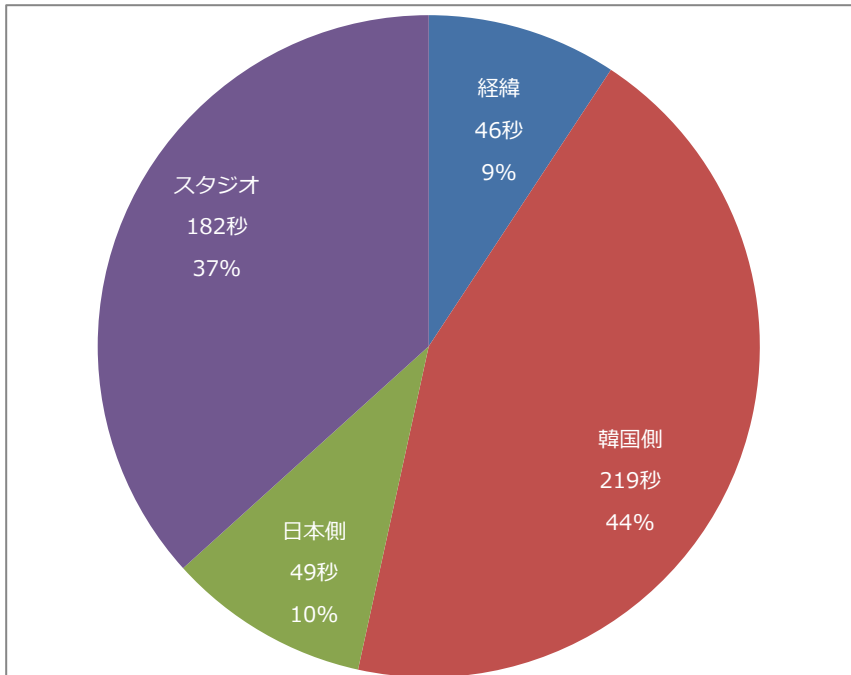
星浩「政府高官何人かに聞いてみたんですけども、今日のムン・ジェイン大統領の発言に潰えは自体を収集する意図が感じられない強行発言で韓国世論向けではないかって見方が強いですね、まあただここに来て日韓の戦略の違いがはっきりしてきたんだと思うんです、韓国は WTO とかアメリカにアピールしてこの問題を国際社会のもの台にしていこう、と。日本は貿易管理の優遇措置をやめただけなんですよ、という実務的な問題として扱おうということであってちょっと差が広がってきた問とところがありますね。」

小川彩佳「実務的な問題にとどめたいという日本と一方で広げていこうという韓国、ますます落とし所が見えなくなっていますよね。」

星浩「そうですね、これ一種の外交戦になってきたということで、日本側もこれちょっと知恵を絞っていく必要があるんですね、日本側はちゃんとその冷静にやっているんだと、韓国の世論に対してもね、日本側は冷静で紳士的なんだと、韓国の世論を味方につける作戦も必要なんですね。まあどうも見るとしばらく膠着状態が続くそうなので最終的には政治がでていって落とし所を探るというタイミングがでてくると思いますね。」

小川彩佳「それまでは長期戦ということになりそうですね。」

このトピックに当てられた時間は 496 秒で、経緯の説明やそれぞれの立場、スタジオでのやり取りに当てられた時間の配分及び比率は以下の通りであった。



時間配分は日本側の反応を取り上げた時間に比べて、韓国側の反応を取り上げた時間が明らかに多いという結果になっていた。韓国の市民に比べて日本の市民は日韓関係に関心がないため取り上げるような動きがないということなのだろうか、それとも日本の市民にも動きがあるもの今日は韓国側の動きを中心に取る日で日本側の動きは後日ということなのだろうか、そういった可能性も考えられる。そのため、韓国側を偏って取り上げていた今回の報道だけで放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に照らして問題であるとまでは判断するのは早計であり、他の放送日との比較しての判断が必要と考える

- ・参議院選挙：結論→他の放送日とのあわせての評価が必要

スタジオでの小川キャスターの「続いてです、いよいよ6日後に迫りました。参院選です。」というコメントに山本キャスターが「今日注目するのは秋田です、三年前の前回参院選では6つある東北選挙区で自民党が唯一勝ったのがここ、秋田でした、しかし今回はあの問題をきっかけに思わぬ逆風にさらされています。」と応えたのを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ナレ「日本の米どころ、秋田。青々とした田んぼにはゆったりとした時間が流れていました。」

記者「関心が高いんじゃないかなと思って。どうですか」

米農家A「なんとしたらいいか、実は悩んでいるところです。自民党さんの言うこともあるし、野党さん方のいうところもあわかるような感じがする。」

"

"ナレ「そんな秋田の一角にこの週末、大勢の私服警察官が集まりました。参議院選挙の投票日まで一週間、政権幹部が次々に応援にはいっているのです。」

菅義偉（官房長官）「いよいよこの選挙も終盤戦に差し掛かったにもかかわらず、大接戦なんです。」

ナレ「三年前の参議院選挙で自民党が唯一議席を守った秋田、」"

"ナレ「その秋田が今回、大激戦となっているのです、原因は秋田市が候補地となっている陸上配備型のミサイル迎撃システム、イージスアショアの問題です。」

地元住民「なにを考えているんだ、我々の人生がかかっているぞ。」

ナレ「防衛省のずさんな調査などの不手際が明らかになると、一気に自民党への逆風が吹き始めたのです。」 "

"村瀬健介（報告）「今、安倍総理が、激戦区の秋田に到着しました、イージスアショアについてどのように訴えるか注目です。」

安倍総理「イージスアショアについては緊張感を欠いた不適切な対応がありました。心からお詫びを申し上げます。」

ナレ「現職の自民党候補、中泉松司氏はイージスアショアの問題には殆ど触れずに自身の実績をアピールします。」

中泉松司（自民党候補）「故郷を守るために必要なのは予算と政策です。私の任期の 9 年間も政策を磨き、予算を作って皆さんの期待に答えようとしてきました。」

ナレ「イージスアショアの配備についてはこれまでの防衛省の対応を言語道断だと批判するものも今後の調査を厳しく見ていくという立場です。」

中泉松司「防衛省の今後の対応を見ていきたいと思います、いかに正確な調査をこれからされ、いかに誠実な対応を取られるのかというところを厳しく見ていく必要があると思います。」 "

"ナレ「対する無所属で野党統一候補の寺田静氏は」

寺田静（無所属）「私が背負ったもの、それはイージスアショアの配備に不安を覚える地域の皆さんの声です、」

ナレ「イージスアショア配備反対を掲げて選挙戦を戦っています。」

寺田静「誰もが安心して暮らすことができる秋田にそぐわないものだと考えて反対をしております。」

ナレ「東京から次々と大物が応援に入る与党候補とは対象的に寺田氏は野党幹部らの応援を断り、政党色を出さずに戦う戦略です。」

寺田静「私が背負ったものは、それはこの選挙、この選挙において他の誰にも背負うことができない、代弁することができないものです。まして東京からいらっしゃる皆さんにはわからない、貴重な、貴重な秋田県民の声です。」 "

"ナレ「候補地となっている秋田市の新屋勝平地区も参議院選挙への対応に揺れています。」

村瀬健介「いま、候補地地元 16 の町内会の会長らが集まりまして、これからこちらの会議室で参議院選挙への対応が話し合われます。」

ナレ「この自治会として選挙への対応を話し合うこと自体、極めて異例のことです。臨時自治会はおよそ 1 時間半に及びましたが結局地元自治会として特定の候補を推すことはしないことになりました。」

佐々木政志（新屋勝平地区振興会会長）「おなじ振興会の役員であっても、会員であっても皆さんそれぞれひとりひとりの個人の見解、あるいは思想的なものも違うのと同じでこれは、強制的に振興会がこれやるからアレだという訳にはいかないと思うんですよ。」 "

ナレ「秋田を揺さぶるイージスアショアの問題、秋田県民はどのような審判を下すのでしょうか。」

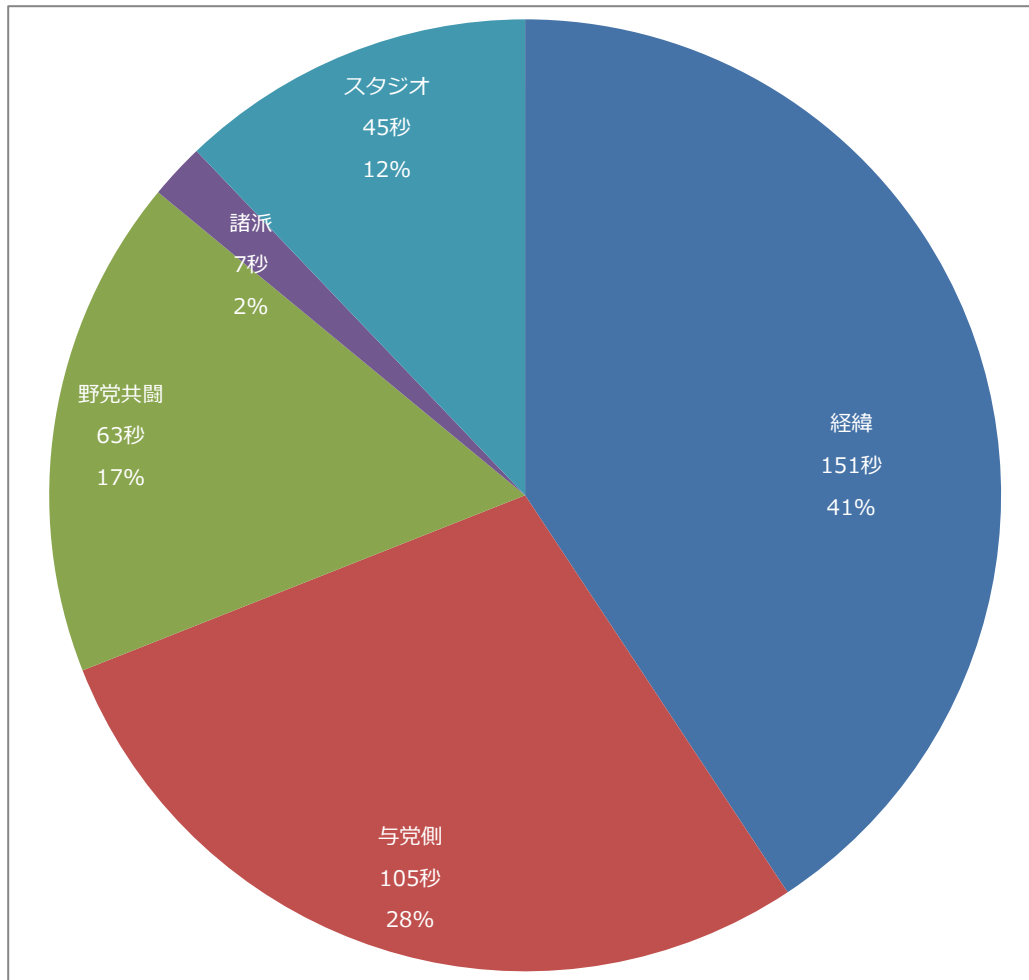
ナレ「秋田選挙区にはこの他に諸派の石岡隆治氏が立候補しています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「秋田でも激戦が繰り返されているようですけれども選挙戦ももう一週間をきりましたよね、。」

星浩「そうですね、まあこの秋田の場合もそうなんですけれども自民党と公明党の与党勢がですね、その組織力を使って着々と準備をしてきたというのが全体の状況ですね、それに対して、まあ野党側は準備は遅れたのですけれどもここに来て猛追している、という状況で、まあポイントは投票率だと思いますね、三年前は54.7%だったのですが例えば今回50%代の後半になってくるようだとまあ野党に風が吹くかもしれない、まあ50%代前半以下だと組織力で与党が有利と、そういう見方がいま与野党の間では流れているところですね。」

このトピックに当てられた時間は371秒で、経緯および与党、野党共闘、諸派を取り上げた時間及びスタジオのやり取りに当てられた時間の配分及び比率は以下の通りであった。



やや与党を取り上げた時間が多めの報道となっていた。他の放送日とのあわせての判断が必要であると考えられる。

ところで、イージス・アショアといえばその候補地は秋田と山口である。山口についても取り上げる放送日があれば、やはり放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点や同二号の「政治的に公平であること」に照らしても不十分となるだろう。いずれにせよ、他の放送日とのあわせての評価が必要と考えられる。

・中国のGDP成長率が最低水準に：結論→特に問題なし

## NEWS23 週刊報告 詳細版

中国の今年4月から6月のGDP成長率が実質で年率6.2%のプラスにとどまったとのこと、これは統計を取り始めた1992年以降で最低の水準であり、中国のGDPは去年の第二四半期から三期連続で減速し一旦下げ止まりまったものの消費の不振を背景に二期ぶりの減速であるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は55秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし



出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕

検証テーマ：日韓関係、投票率、トランプ大統領の発言、サンマの資源管理をめぐる国際会議

#### 報道トピック一覧

- ・日韓関係
- ・東京目黒で帰宅途中の男性が面識ない男に傘で目を突かれ失明
- ・投票率
- ・やけど放置の母「自覚足りなかった」
- ・トランプ大統領の発言
- ・埼玉県蕨市で高校生を切りつけた男が逃走
- ・熊本北区で放火容疑の中学生逮捕
- ・福岡で女性遺棄事件
- ・熊本の逃走事件
- ・上皇さまに一時的に強い脳貧血
- ・”青汁王子”に懲役二年休憩
- ・サンマの資源管理を巡る国際会議
- ・【異論反論】#ビニール傘の”使い捨て”
- ・天気予報

#### 放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

- ・日韓関係：他の放送日とのあわせでの判断が必要

小川キャスターの「今夜はまずは連日お伝えしております日韓を巡る問題からお伝えしてまいります、その溝は日に日に深くなってきています、今日もですね、元徴用工の訴訟などを巡って日本と韓国の応酬が続きました。」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

「世耕弘成（経産相）「当初から今回の見直しは安全保障を目的に輸出管理を適切に実施する観点から運用を見直すものであるということを明確に申し上げています。対抗措置ではないということを最初から一貫して説明をしてきているわけでありまして、昨日のムン大統領のご発言にあるようなですね、指摘はですね、まず全く当たらないということを申し上げておきたい。」

ナレ「改めて、今回の輸出規制が徴用工問題などへの対抗措置ではないということを説明した世耕経済産業大臣。これは昨日、韓国への半導体材料の輸出規制の強化をめぐりムン大統領が日本政府を強く批判したことを受けたものです。更に、韓国政府は今日。」

鄭義溶（韓国大統領府国家安保室長）「日本政府が今回の措置を撤回するまで断固として対応する。」

ナレ「韓国大統領府は与党幹部と対策会議を開き日本の措置を批判、与党側はすべての外交ちゃんねるを活用して国際社会に日本の措置の不当性を知らせることが第一だ、などとして断固たる態度で対処するよう求めました。一方、徴用工問題をめぐり日韓両国の溝がさらに深まる事態となっています。韓国の最高裁が三菱重工業に元徴用工らへの賠償を命じた訴訟。原告側は既に差し押さえている三菱重工の資産、およそ 7300 万円相当に土江裁

判所への売却命令の申請を早期に行い、現金化の手続きを始めることを明らかにしました、昨日を期限としていた賠償に関する協議に三菱重工が応じなかったためとしています。」

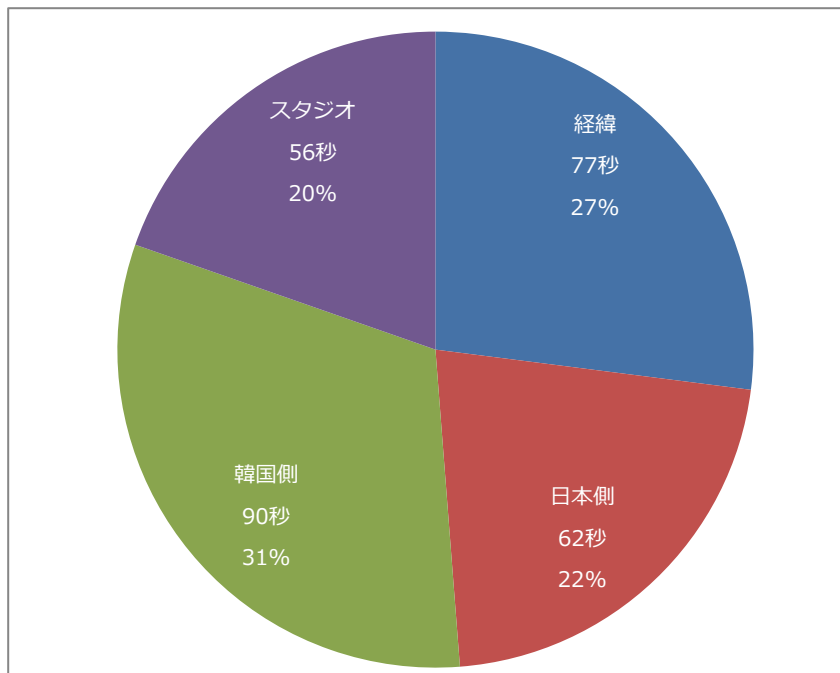
崔鳳泰 (原告代理人、弁護士)「今更協議ができないというのは、日本政府が圧力を加えているからだと推測する。」  
ナレ「原告の代理人は三菱重工は日本政府の後ろに隠れた私達の要求を握りつぶしたなどと批判しました。こうした動きに日本政府は。」

河野太郎 (外相)「万が一、日本企業に実害が及ぶようなことがアレば必要な措置を講じなければならない。」  
ナレ「河野外務大臣は三菱重工など日本企業の資産が現金化された場合には対抗措置を取る考えを示しました。徴用工問題を巡っては日本政府が韓国政府に要請している仲裁委員会の開催に必要な手続きの期限が明後日に迫っています。日本政府は第三国に委員の専任を委ねる形での委員会の開催を強く求め地ました、しかし韓国大統領府の高官は今日、日本側の要請は受け入れられないとの立場を明らかにしました。日本政府は韓国側が要請に応じない場合は国際司法の場に提訴することを含め対応を検討しています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「日本と韓国の応酬が日に日にエスカレートしていますが、こちら、韓国政府はですね、まず徴用工の問題では明後日 18 日に第三国の仲裁を受けるための手続きの期限を迎えるんですけども、これを拒否する見通しなんですね、そして夜にはいつてきた新しい情報によりますと、JNN の取材ではですね、原告団は早ければ日本の参院選が終わった、次の日、この 22 日に三菱重工の資産を現金化する手続きに踏み切る方針を固めたということです、さらに輸出規制の強化の問題に関してですね、韓国政府は来週の 23 日と 24 日の WTO の一般理事会で各国に訴えることも含めて一步も引かないということではばらくは緊張状態が続きそうです。」

このトピックに当てられた時間は 285 秒で、経緯、日本側の反応、韓国側の反応、スタジオのやり取りに当てられた時間とその比率は以下の通りであった。



今回の報道は日本側は日本政府の反応が取り上げられていたのに対して、韓国は政府の対応のみならず民間の

反応も取り上げられていた。今回の報道だけでの判断は難しいが、こうした韓国に偏った取り上げ方を続けるようであれば、それは放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に抵触する可能性を帯びてきかねない。

・投票率：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さて、続いては五日後に迫っています、参議院議員選挙です。」というコメントに山本キャスターが「まずは皆さんにこちらを見ていただきたいのですが、とてもインパクトのあるポスターなんですけれども、実はこれは北海道の選挙管理委員会が作った投票を呼びかけるポスターなんです、全国各地の自治体が人気タレントをポスターに起用するなどして、特に若者の投票率アップのためにあれやこれやと手を尽くしています、選挙の度に話題になる若者の投票率の低さですが、解決策はあるのでしょうか。」と応える形での導入を受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「東京新宿に集まった学生団体 IVOTE のメンバーたち、若者と政治の距離を近づけようと活動していてこの日は参院選に向け新たな企画を立ち上げました。」

別木萌果さん (IVOTE 副代表、東京学芸大 4 年)「すべての争点について詳しくなってほしいというよりは自分の興味のあるところから今回の選挙に興味を持ってほしいなと思って、」

ナレ「学部ごとに関係する争点がまとめられたこのサイト、法学部なら憲法改正、教育学部なら教員の働き方改革について、各政党の政策やスタンスがひと目で分かるよう作られています、少しでも選挙に興味を持ってもらいたいと知恵を絞る IVOTE の学生たち、ミーティングでは 20 万回以上再生されているある動画が話題に上がりました。」

"動画 (動画制作：笑下村塾)「年金が破綻する、関係ないわ、だって私はもらえているもの。地球音電化？ 20 年先 30 年先の話なんて知らないは、でもあなた達は選挙には行かない、選挙には行かない。だから、私達が政治を動かしているの。」

ナレ「中高年の男女が選挙に行かないよう呼びかけるこの動画、お笑いを通じて社会問題を提起する団体で作ったものです。」

IVOTE 立教大学 2 年生「このようなことをしないと、若者には届かないかな、」

IVOTE 立教大学 4 年生「ちょっと以来荒らしました、不快に思いました。それで投票に行くかと言うとまても話は違うんじゃないかって思って。」

ナレ「学生たちからは賛否の声が聞かれました。模索が続く若者の投票率アップに向けた取り組み、」

"ナレ「東京練馬区では参議院選挙の期日前投票所、投票を見守る若い男性の姿がありました高校 3 年、18 歳の佐々木亮翔さん、不正がないかチェックする立会人を務めているのです。」

佐々木亮翔さん (こうこう 3 ねん、18 さい)「今度の参議院 s 値居でこういう仕事があるぞ、とちょっとお話を伺ったので、まあめったにない機会だと思ったので・」

ナレ「選挙権の年齢が引下げられたため 18 歳の高校生でも務められるようになった立会人、この日、二回目となりましたが、気になることが。」

佐々木さん「同い年だったりと言う方もぼちぼち見られるんですけども、ほとんどはやっぱ、お年寄りの方だったりというふうに感じています。」

ナレ「投票権が18歳以上となってから、国政選挙はこれまで2回を行われましたが10代の投票率は大きく下がりました。」

ナレ「先週、都内の高校ではこんな授業が行われていました。」

生徒「私達の党は守銭党、といいます。私達のキャッチフレーズはみんなのお金を守り抜く。」

ナレ「自分たちが政党を作るならどのような政策を掲げるか。高校3年生による模擬選挙。生徒の3人に1人は18歳で今回はじめて選挙権を持つ有権者です。ん中にはこんな提案を、」

生徒「独身税を創設して35歳以上でかつ月30万円以上の稼ぎのある人で独身である方に月1万円の税金を国に支払ってもらいます。」

ナレ「独身税のアイデアを発表したのは速水えりいさん、授業を気に政治を身近な問題として捉えるようになったといいます、ただこれまで家族との会話でも政治が笑いに上がることはほとんどありませんでした。」

記者「話す機会って無い、」

えりいさん「全然ないと思います。」

えりいさんの母親「最低限よね、生活の会話がね。」

えりいさんの父親「いや、決して会話のない家族ではないのですけれども、逆に多いくらいなのですが、それでもないですね。」

ナレ「2016年の参院選のあと、18歳から20歳を対象に行なった調査では家族と政治の話をしない人はほぼ6割を占めました。また、子供の頃親が行く投票に打ちていった経験が自身が有権者になったときに63%が投票に行ったと回答。経験がない人の投票は41.8%にとどまりました。えりいさんこの日は家族で消費税の増税が話題に。」

えりいさん「税金10%に上がったらさ、なんか生活で困っちゃうとかはないの。」

えりいさんの母親「えりいのお小遣いを減らせばいいだけで。」

えりいさんの父親「結局はどこかで絞らないと。」

えりいさんの母親「国債は発行できないから。」

ナレ「家族のこうした会話が若い世代の投票率を阿木るか技となるかもしれません。」

えりいさんの父親「とりあえず消費税上がったらお小遣いを減らそう。」

えりいさん「え、まじで。」

えりいさんの母親「父からだよね。」

えりいさんの父親「それは、それは」

えりいさん「不平等じゃない、もらっている額みんな違うんだから、みんな一気に減らすって。」

えりいさんの父親「それは声を上げよう。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「投票は家族のイベントにするっていうもいいかもしれないですね。そして今話題になっている挑発的な動画ですけれどもVTRにもありましたが、世代間の対立を煽る、ですとか実際の投票行動に結びつくのか、どうかという疑問が上がっているようですけれども、こうした賛否の議論が巻き起こること自体が琴線に触れている証拠なのかなというふうにも感じますね。山本さんは一番若者の気持ちをフレッシュに思い出せる立場ですけど。」

山本恵里伽「20代ですけれども、そうですね私も学生の頃を振り返ってみると政治に対してあまり詳しくないから、でも詳しくない自分が一票を投じていいのかなって不安に思っている若者って少なくないんじゃないかなって思うんですね、ただ、今回争点になっている年金の問題であったりとか、私達の将来にダイレクトに関わることが今まさに取り沙汰されているので無関心ではいられないな、とは感じていますね。」

星浩「まあ、若い人はこれいいことでもあるんですけども完璧な選択をちょっと考えるんじゃないですかね、でも私の政治記者の経験でも100点の政党とか政治家とかまずいけませんので、まあどちらかと言えばこちら40点、こちら60点っていう感じで、よりマシな方を偉ぶっているのが選挙なんですね。若い人にもそういうその選択をしていくんだということを考えてもらう非常にいいチャンスになるっていう気がしますね。」

小川彩佳「それから私若いADさんと話ししてますとはっとさせられることが結構多くて若い方のまっさらな感性、先入観のないもののほうが意外とこう本質を見抜く力を持っているように感じるんですね。今の感性は今しか持てないものですから、ぜひこれを信じて大人に気付きを与えるような一票を投じていただきたいと思います。」

このトピックに当てられた時間は522秒で今回は放送法上は特に問題は見られなかった。

・トランプ大統領の発言：結論→他の放送日とのあわせての評価が必要

小川キャスターの「トランプ大統領が白人ではない女性議員を念頭に国に帰ってはどうか、などというツイートをした問題です、女性議員たちは人種差別的な攻撃だと、強く非難しています。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"イルハン・オマル（民主党下院議員）「トランプ氏は政党に選出された4人の下院議員にあからさまに人種差別的攻撃を始めました。全員日白人の女性です。」

ナレ「怒りを頭にするのは野党民主党の女性議員たち、トランプ大統領の発言が人種差別的だとして急遽会見を開きました。」

"ナレ「発端となったのはトランプ氏が投稿したこのツイート。」

トランプ氏「民主党の急進的な女性たちは政府が破滅し世界のどこよりも腐敗した無能な国から来ている、祖国に帰って完全に崩壊し犯罪がはびこる場所を立て直す手助けをしたらどうだ。」

ナレ「名指こそしていませんが念頭に置いたと見られているのが民主党の女性議員ら4人、プエルトリコ系でニューヨーク生まれのオカシオ＝コルテス議員やソマリアから難民として来たイルハン・オマル氏などいずれも非白人の女性でトランプ政権の移民政策を批判しています。」

"ナレ「トランプ氏は翌日にも」

トランプ氏「我々の国が嫌いでもここにいても幸せでないなら出ていけばいい。不満ばかり言うなら出ていけばいい、今すぐに出ていけばいい。」

"ナレ「15日、ホワイトハウスで行われたアメリカ産製品の展示イベントでは記者からの質問攻めにあう一幕も。」  
記者「『国に帰れ』というツイートは誰のこと。」

記者「あのツイートは人種差別的と見られているが。」

ナレ「人種差別的発言への質問が相次ぐと。」

記者「ツイートが人種差別的と思われてもいい？」

トランプ氏「黙れ、黙れ、黙れ。『永久に』とはいっていない、でていきたいならどうぞ、と言っている。」

ナレ「トランプ氏は一連の発言について多くの人が賛同する、として撤回する様子はありません。」 "

"ナレ「女性議員たちは露骨な人種差別だと反発、」

イルハン・オマル「大統領が私達の憲法を踏みしめるのを許すことをやめるときが来ました。大統領を弾劾すべき時が来たのです。彼は人種、宗教、性別、移民条件などによって、この国を分断したいと思っています。」

オカシオ=コルテス「アメリカの子どもたちに伝えたい大統領がなんと言おうとも、この国はあなた達のものだということを。」

ラシーダ・タリーブ「大統領のツイートはいつものように人種差別的行為を行っているに過ぎないと分かっています。この国の腐敗と闘うために私は議員として選ばれたのです。」 "

"ナレ「トランプ氏はこの会見の最中にも。」

トランプ氏 (Twitter) 「民主党は彼女たちを受け入れることを強いられているが、それは社会主義を支持することを意味する。」

ナレ「更に与党共和党の議員からは火に油を注ぐような発言も飛び出しました。」

ラルフ・エイブラハム下院議員 (Twitter) 「もし彼女たちがここよりもいきたい場所を教えてくれるなら私がチケット代を出すよ。」 "

"ナレ「トランプ氏の発言に野党民主党のペロシ下院議長は。」

ペロシ (Twitter) 「アメリカを再び偉大にする、という彼の計画はアメリカを再び白人の国にするということだった。」

ナレ「と強く反発、ペロシ下院議長はトランプ氏に対し、吐き気がする攻撃だと声明を出し、民主党は議会に非難決議を出す構えです。」 "

ナレ「反発を呼んでいるのは、ツイートだけではなく、トランプ氏は 19 日、全米で不法移民の一斉摘発を始めたことを明らかにしました。」

トランプ氏「摘発は大成功だった。みんな知らないだろうが日曜日に大勢が連れ出された。」

ナレ「来年の大統領選挙を睨んだ動きなのでしょうか、一斉摘発はニューヨークなど全米の主要都市などで行われるということですが、各地で抗議デモが行われるなど波紋が広がっています。」

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「こうした人種差別的な排他的な感情を刺激して支持を集めるようなトランプ大統領の手法に触れるたびに怒りとともになんだか悲しい気持ちにもなるんですけども、背景にはどういった事があるのでしょうか。」

星浩「そうですね、まあ一国のリーダーがね、国民に対して出ていけというような発言をするというのは到底許されることではありませんが、まあトランプさんなのね、計算はあった発言だと思いますね、というのもトランプさんは来年の秋には民主党と戦うんですけどもこういう状況になっていましてね、そのペロシ下院議長、中道派の議長に対して、オカシオ=コルテスさんたち急進派のなかに亀裂が生じているんですね、そこでトランプさんは急進派を攻撃することで、民主党を揺さぶろうということによってこういう発言にでたんでしょう、ところが実際はペロシさんが大統領非難決議を出しましょう、と提案して、コルテスさんたちも同調して結束しようということになっていて、どうもトランプさんの作戦は裏目に出たということ。」

小川彩佳「思惑通りには行かなかった。」

星浩「その、差別発言だけが際立つ結果になってしまってこれはもしかすると来年の大統領選挙に向かってトランプさんにとって相当痛手になるという可能性はありますよね。」

小川彩佳「ここがターニングポイントに なるかもしれない」。

このトピックに当てられた時間は 414 秒だった。

スタジオではトランプ大統領の発言の是非に焦点が当てられていて、不法移民の摘発とそれに反対するデモについてはあまり触れられていなかった。他の放送日とも比較が必要ではあるが、不法移民の問題を単なる人種や民族の問題と混同させるような報じ方は放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」や「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点に照らすと不十分なものとなってしまいう可能性があるといえる。

・サンマの資源管理をめぐる国際会議：結論→特に問題なし

不漁が続くサンマの資源管理について話し合う国際会議が始まったとのこと、不漁の背景には中国や台湾が公海での漁獲を急増させていることなどが指摘されていて日本は漁獲量の規制を提案するが中国などからの反発が予想されるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月17日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕                  ゲスト：細川昌彦（中部大学特任教授、元経済産業省の貿易部長）</p>		
<p>検証テーマ：日韓関係、ホルムズ海峡の有志連合、アメリカ下院がトランプ大統領に非難決議                  EU 委員長に女性、【異論反論】#日韓関係</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【速報】元 SMAP3 人の出演に圧力の疑い</li> <li>・日韓関係</li> <li>・京都府の自宅で3歳長男を暴行死の疑いで両親を逮捕</li> <li>・大津市園児死傷事故で初公判</li> <li>・ホルムズ海峡の有志連合</li> <li>・アメリカ下院がトランプ大統領に非難決議</li> <li>・埼玉県蕨市の男子高校生切りつけ事件</li> <li>・EU 委員長に女性</li> <li>・芥川賞と直木賞共に女性が受賞</li> <li>・和歌山市の逃走事件の容疑者が神戸で逮捕</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#日韓関係</li> <li>・天気予報</li> <li>・【速報】ジャニーズ事務所からコメント</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓関係：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「こちら、韓国で行われた世論調査なんですけれども、輸出規制を巡る韓国政府の対応について効いたものなんです、政府の対応は適切だ、もしくはより強い姿勢をと言うふうに見える人が合わせて7割に登っているというこうした結果が出ているのです、韓国で強まる日本への反発、影響は旅行業界にも及んでいます。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「日本海沿いに美しい景色が続く鳥取砂丘、外国人にも任期の観光スポットに今、ある異変が起きています。」</p> <p>中嶋淳一（らくだや）「韓国からのお客さんはもう葉きり減っていると言うか殆ど見かけないですね。」</p> <p>ナレ「日本が韓国への輸出規制の強化に踏み切って以来、韓国人観光客が激減しているのです、海外でも任期のアニメ、名探偵コナンの聖地としても知られる鳥取。情報サイトが選ぶ外国人が訪れるべき観光地ランキングでは京都や東京などを抑え m なんとトップにお頭ずれました、中でも一番多いのが、」</p> <p>韓国人観光客 A 「鳥取に行けば空気がきれい、これが一番です。」</p> <p>ナレ「韓国からの観光客。去年は外国人観光客全体の実に3割以上を占めていました。ところが今日は。」</p> <p>金子泰拓（報告）「こちら韓国人観光客に人気だという水木しげるロードなんですけれども、今日はまだ観光人観</p>		



光客は見当たりません。」

インタビュアー「観光から来られた人は見ました？」

市民 A「ないですね、いまは見ていないですね。」

ナレ「探しても探しても韓国人観光客は見つかりませんでした。」

ナレ「日本製品の不買運動がじわりと広がる韓国、日本向けの旅行についてもキャンセル率が平均で 6 割を超えたという報道もあります、実際に鳥取では韓国からのフェリーの乗客が激減、地元の観光業界が懸念するのは問題の長期化です。」

山根智さん（砂丘会館）「お隣の島根県等ではチャーター便が中止というのはありますので、まあ心配がないと言えば嘘になります。他のことにちょっと飛び火して、でちょっとやっばしやめようかというお客さんが増えるのはちょっと心配がございます。」 "

"ナレ「日韓関係が悪化の一途をたどる中、韓国のホン・ナムギ副首相は今日、日本が輸出規制を強化した三品目について、脱日本化を進める方針を表明しました。」

ホン・ナムギ（副首相）半導体の材料の対日依存度を下げて高い産業競争力を確保するための総合対策を近く発表する計画です。」 "

ナレ「日本政府が輸出規制を強化したのは半導体などの製造に欠かせないフッ化水素やレジストなどの三品目、韓国はこれらの調達を日本に大きく依存しています、フッ化水素は四割以上、レジストなどは九割以上となっております、しかし今回の日本側の措置を受けてフッ化水素などの国産化を目指すとしています、その国産化を前に新たな動きが出てきました。」

"ナレ「これは中国の素材産業の業界団体が書いた記事。」

記事「突破！浜化集団のフッ化水素が韓国市場に進出成功。」

ナレ「中国山東省にある科学原料メーカー浜化集団が韓国企業からフッ化水素を受注したと伝えたのです。」

記事「現在、韓国企業は続々と浜化集団に大量発注している。」

ナレ「上海市場では。」

森岡紀人（報告）「昨日ストップ高をつけた浜化集団の株価ですが今日も続伸を続けています。」

ナレ「実際に浜化集団以外の中国企業にも韓国からの問い合わせが相次いでいるといいます。」

インタビュアー「最近韓国からの問い合わせはアリア m スカ。」

江蘇省のフッ化水素生産企業「たくさんありました。」

インタビュアー「いつから」

江蘇省のフッ化水素生産企業「先週からかな、話が出てきました」

インタビュアー「問い合わせは」

浙江省のフッ化水素生産企業「何社もしてきました、貿易会社を通じてしてきたところもあります」 "

"ナレ「また複数の韓国メディアはサムスン電子が国産のフッ化水素のテストに着手したと報じました。当のサムスンは私達の取材に対して」

サムスン電子「多様な可能性があり、検討中です。」 "

"ナレ「フッ化水素の調達を急ぐ韓国ですが焦点は高純度のフッ化水素を入手できるかどうかです。」

田嶋稔樹（芝浦工業大学教授）「中国からでももちろんその蛍石からフッ化水素を作るということはたくさんやら

れているんですけども、やはり技術力の問題でなかなか高純度のものを作るといのは難しいです。」

ナレ「実は韓国も以前はフッ化水素の国産化を目指していました。しかし、2012年に起きた事故をきっかけに計画にブレーキが掛かったのです。化学メーカーの工場でフッ化水素が漏れ出して作業員ら5人が死亡、近隣の農地や山林が汚染する事故が起きたのです。当時、大統領選に出馬表明していたムンジェイン氏は現地を視察し政府の対応を批判していました。」

ムンジェイン（韓国民主党議員、当時）「医療支援も不足して学生や会社員たちもまだ受診ができていない。こんな事があってはならない。」

ナレ「日本の輸出規制をきっかけに再び国産化を目指す韓国、」

"ナレ「日本の大手メーカーはこう話します。」

日本大手メーカー「高純度のフッ化水素はきょう、あすに製造ができるようなものではない。他の国で製造ができるなら今までもやっていたらう。」

"ナレ「ただ、規制が長期化すれば日本メーカーが優位だった業界の構図が変わる可能性がある」と専門家は指摘します。」

岡寄茂樹（野村証券素材チームヘッド、リサーチアナリスト）「韓国の半導体メーカーが日本のフッ化水素メーカー以外、例えば中国メーカーからの調達がしやすくなって日本のフッ化水素メーカーのシェアが変動する可能性はあると思います。」

ナレ「混迷する日韓関係に出口は見つかるのか、今日、韓国のカンギョンファ外相ら政府高官はアメリカのスティルウェル国務次官補と相次いで会談し、韓国がわの立場を表明しました。」

"スティルウェル（アメリカ国務次官補）「基本的には韓国と日本がこの敏感な問題を解決しなくてはならない。問題の早期解決を望む。」

ナレ「中立的な立場を示したアメリカ側。」

"ナレ「一方、日本の経済界からは冷静な対応を求める声が上がっています。」

三村明夫（日本商工会議所会頭）「韓国側の報道あるいは政府から出る意見については、むしろますますエスカレートしてきている。日本側としては極めて冷静にこれについては粘り強く何回も何回も説得を試みるということしかないと思います。」

VTRを受けてスタジオではゲストの細川昌彦氏を交えて以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「ここでスタジオでご解説をいただきます、元経済産業省の貿易部長で輸出管理の実務にお詳しい、細川昌彦さんに来ていただきました。よろしくおねがいします。」

細川昌彦（中部大学特任教授、元経済産業省）「よろしくおねがいします」

小川彩佳「今回の半導体材料の輸出規制を巡っては韓国側が激しく反発して、今月23日24日のWTOの一般理事会でも各国に訴えかけていくという方針だということですけども、日本の主張は国際的には認められるものなんでしょうか。」

細川昌彦「そうですね、あの、そもそもこの措置っていうのが、もう禁輸でもなんでもない、あの、単に言いますかね輸出管理の手続きをこれまで特例的に簡便な手続きで進めた韓国を通常の普通の個別許可にした、他のアジアの国々と同じようなあつかいにしたということなんですね、しかもそれは国際的な合意の履行のために日本はやったということなんですね。どういうことかといいますとね、ちょっといいですか。これは今回の輸出

管理というのは一体何だろうかということを見てもいいんですが、世界はやっぱり経済の、あこちちですね経済の世界と安全保障の世界、これが重なり合う部分、これが今回の安全保障の輸出管理なんですよ、どういうことかといいますと、かといいますとね、軍事転用可能な物資が危険な国に渡らないようにしましょう、と各国で合意して 3,40 カ国集まって国際的な枠組みを作っているんです、それがまさにこの重なり合う部分でどっちかって言うと安全保障が優先する案件なんです、で、これを実施するためのものですから WTO の規定、さっきお話ありましたよね WTO に持っていったという。この経済の方を規定するルールなんです、ここの安全保障に関わっている部分は例外扱いするという規定があるんです、したがって今回の安全保障の輸出管理というのはどこの国も実施してます、韓国自身も実施しているんですよ、そういうところが全部例外扱いになっている。ということはまず知っていただきたいなと思いますね。」

小川彩佳「そもそも例外扱いだ、ということ、そして優遇措置が設けられていたのが通常に戻されただけということだと。」

細川昌彦「その大騒ぎするような話ではないんじゃないかな、とわたしたちはそう思っているのです。」

小川彩佳「そうですね、実際、世耕経産大臣も昨日の会見でも改めて今回の輸出管理は安全保障を目的としたもので、対抗措置ではないというふうに説明していましたが、さかのぼりますと、今月 3 日世耕経産大臣のツイッターなんです、その理由について、十分な意見交換の機会がなくなっていた、そして 2 つ目不適切な事案があった、で 3 つ目なんですけれどもこちら、信頼関係が著しく損なわれた、これ Twitter の原文を見ますと旧朝鮮半島出身労働者問題については G20 までに満足する解決策が示されず、でこの信頼関係が著しく損なわれた、と、これはどこかこう政治的な理由があったのかなというふうに思わせてもおかしくないような余地を残してしまったのかなと思うんですけれども。」

細川昌彦「たしかにね、あのその当時は元徴用工の問題での韓国の対応はけしからんということで世論も大きかったかと思えます。それで対抗措置なんか検討しようという声もあったのも事実です、ただその中でこの措置というのはその対抗措置ではないということで、ちゃんとその説明で 1 と 2 は理由としてさっき申し上げたように輸出管理の世界のロジックは整っていると思うんです。輸出管理の世界では意見交換を互いにできなくてなにか情報交換きちんとできないと信頼できません、輸出管理の世界で、ですね。それから二番目に日韓の間で不適切な事案、まあいろんな取引の案件がですね、非常にだから通常取引では考えられないような注文の仕方をしたりそれが常態化していると、これは不適切な事案と、言うことが放置されている、こういうことでいつ他の第三国に流出してもおかしくないという事態が生じていましたから早くこれに蓋をして通常の許可にしなきゃいけないということなんでしょう。ここまでは私理解できると思うんです。3 のところになると気持ちはわかるんですよ、ただこれは理由じゃなくて背景といいますかね、バックグラウンドとして、韓国が約束を守らなかったということで信頼関係が著しく損なわれたとこうおっしゃられているんですね、だから、そこは理由と背景というのをきっちり仕分けして、やっぱり国際社会に訴えるのは 1 と 2 で完結してすべきではなかったかなと、私は思います円。」

小川彩佳「ただ実際この 3 つ目でズレが生じてしまったというところもあるかと。」

星浩「そうですね、今回の件で日本と韓国土俵が違っている感じがしますよね。日本はその細川さんが言われたように貿易管理の問題だ、韓国は明らかに政治問題化して世界に訴えようということにんあってこういうときはやはり外交の出番だというような気がするんですよ外務大臣同士で話し合うとかもうちょっと新しいパイプを

作るとかそういうことやらないと、世界も見てますもんね、日本と韓国はこういう問題を解決できない国なのか、ということですよ。」

細川昌彦「それはそうですね、ただ、やっぱり安全保障、1と2番さっきのその安全保障の輸出管理の世界ではですね、もう韓国はぐうの音も出ないんですよ、正直、だから3のところだけに、焦点を当ててそこにだけしからんと言っているんですね、これはですね日本側も分かっています WTO の場でもですね、1と2できっちりとロジックを完結させるということで、外交的になにかね、落とし所とかいう世界ではないと思います。これはやっぱり国際社会にロジックをしっかり理解してもらえれば、さっき申し上げたように WTO の枠外の話できっちりと国際約束を日本は守るためにやっているということをね。」

星浩「長い目で見ると、そういうことも必要ですね。」

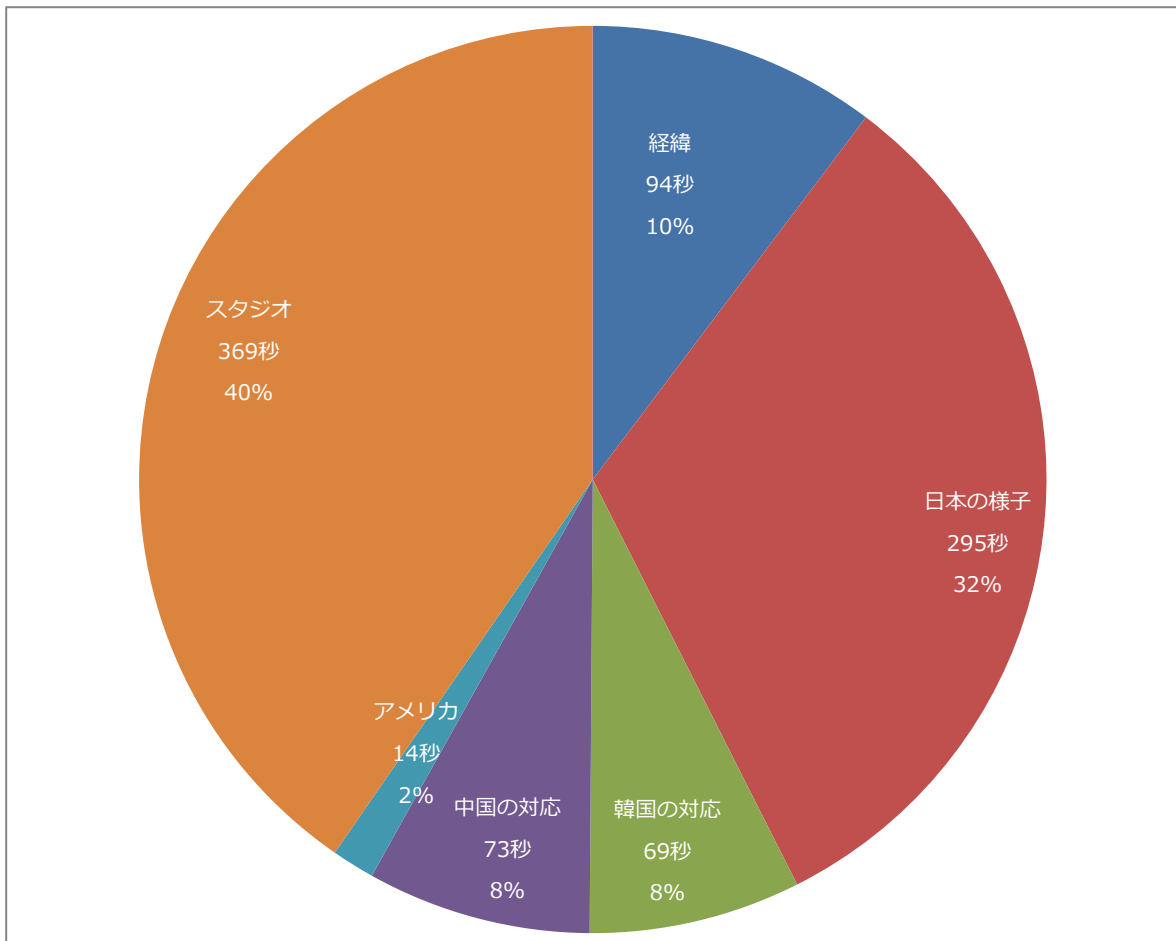
細川昌彦「韓国以外にも他の国々もきっちりと理解してもらおうということもとても大事なことで、それがひいては韓国側にやっぱり考え直させる一つのきっかけになるのかなと、私は思いますね。」

小川彩佳「そうですね、国際社会を巻き込んでこの2点（1と2）を説得していかなければならない、と。」

細川昌彦「そう思いますね。」

小川彩佳「はい、細川さんどうもありがとうございました。」

このトピックに当てられた時間は914秒で、経緯や日本、韓国、中国、アメリカの受け止め方を取り上げた部分、スタジオでのやり取りに当てられた部分の時間配分及び比率は以下の通りであった。



今回は日本側の受け止め方に焦点が当てられる部分が多かった。これまでの報道で韓国側の反応を取り上げることが多かったこともあり、他の放送日とあわせて評価すると放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点からはバランスの取れたものと言えるのではないだろうか。

・ホルムズ海峡の有志連合：結論→特に問題なし

小川彩佳「イラン沖のホルムズ海峡で緊張が高まっていますが、その安全確保に向けた有志連合について、アメリカ政府が行う関係国の説明会に日本政府も担当者を出席させる方向で調整していることがわかりました。」というコメントを導入し以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「中東のホルムズ海峡などの安全確保に向け有志連合の結成を検討しているアメリカ政府。」

エスパー陸軍長官「同盟国と協力してホルムズ海峡やペルシャ湾、オマーン湾を監視し、(民間船舶の) 警護を行い挑発や判断ミスを抑止します

ナレ「アメリカの次期国防長官に指名されたエスパー陸軍長官は有志連合についてイラン側との衝突を抑止することが目的だと話しました、有志連合構想についてアメリカ政府は 19 日に関係国に向けて説明する予定です、そこで大きな焦点となるのが日本の対応ですが日本政府はこの説明会にアメリカの日本大使館から担当者を出席させる方向で調整していることがわかりました。」 "

"岩屋毅 (防衛相) 「この段階で、そのいわゆる有志連合といったものにですね、自衛隊が参加するというようなことを考えているわけではありません。」

ナレ「昨日、有志連合への自衛隊の参加は考えていないとした、岩屋防衛大臣ですが、政府としてはアメリカ側から有志連合構想についての具体的な説明を聞いた上で今後の対応を慎重に検討する考えです。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「有志連合の説明会が行われるということですがけれども日本側にも協力を求めてくることを前提にいま政府で検討が行われている、と。」

星浩「そうですね、19 日に説明を受けることになるのですが、今のところ考えられているのは、こんな選択 (海賊対処法、自衛隊法の海上警備行動。安保法制の重要影響事態) なんですけれども、イランは海賊じゃありませんからちょっと難しいですよ、海上警備行動というのはこれ警察活動の延長のようなものですのでちょっとなかなか難しいかなということですがけれども、安保法制の重要影響事態ですけれども今の事態がね、重要影響事態かという、そうとも言えないということからするとなかなか従来の枠組みで自衛隊を派遣するのはなかなか難しいんですよ。ですから新しい枠組み、例えば経済支援をするということになると、臨時国会が必要になりますのでこれは臨時国会での課題かなという事になる気がします。ただその有志連合に協力すれば日本とイランの関係はかなり陰悪になりますし、まあそもそもこの問題はアメリカが核合意を離脱したことが発端ですのでやはりアメリカとイランが話し合ってもらおうというのが最優先だということを日本はアピールする必要があると思いますよね。」

小川彩佳「そうですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 181 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ下院がトランプ大統領に非難決議：結論→特に問題なし

ナレーションによって「トランプ氏の発言について人種差別的だと避難する決議は下院本会議で民主党の他共和党からも4人が賛成し、可決されました。トランプ氏は民主党の白人ではない四人の女性議員を念頭に、なぜ出身国に帰らないのか、我々の国を嫌い不平ばかり言うのなら出ていけばいい、などと発言してきましたが決議案の採決に先立ち、私に人種差別主義者の血は流れていないなどと反論。一方、攻撃を受けたオカシオ＝コルテス議員はあなたは人種差別主義者の考え方と心を持っていると書き込み、改めて非難しました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は74秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・EU 委員長に女性：結論→特に問題なし

ヨーロッパ連合の議会は次のEU 委員長にドイツのフォンデアライエン国防相を起用する人事案を承認したとことが報じられるとともに、EU 委員長に女性が就任するのは初めてであるとのこともあわせて伝えられた。このトピックに当てられた時間は23秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#日韓関係：結論→特に問題なし

「輸出規制をめぐる冷え込む日韓関係、韓国の国民はこの状況をどう見ているのでしょうか、今日はソウルで意見を聞いてみました。異論反論。」というナレーションを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ソウル市民 A 「日本の態度がよくない。日本抜きでも大丈夫だと見せる必要がある。」

ソウル市民 B 「妻は日本のビールをよく飲んでいましたが2週間前からやめている。韓国を見くびるから不買運動が起きる。」

ソウル市民 C 「ユニクロのジーンズを買いたいけど、良心の呵責を感じ控えている。どうして日本が輸出規制をするのか、韓国がなぜそのような立場に置かれているのか考えて解決してほしい」

ソウル市民 D 「不買運動は市民と市民が対立することになるだけ。問題解決にならない。」

ソウル市民 E 「隣国なのに残念。国民同士の溝が深くなるのは良くない。」

ソウル市民 G 「困難な部分は両国が譲り合うことで解決策を見つけてほしい。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は90秒だった。

以前の報道では日本の街の声を取り上げていたことから、今回はソウルの声を上げるという点では公平な取り上げ方と言えるが、日本の街の声では日本にいる韓国人の声も取り上げられていたのに対して、ソウルの街の声では韓国にいる日本人の声は取り上げられていなかった点がいささか残念であったものの、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に直ちに抵触するというようなものではないと考えられる。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・日韓関係：結論→他の放送日の評価する際の補助線となりうる放送と言える

今回の放送でスタジオで細川昌彦氏が「そもそもこの措置ってというのが、もう禁輸でもなんでもない、あの、単に言うか輸出管理の手続きをこれまで特例的に簡便な手続きで進めた韓国を通常の普通の個別許可にした、他のアジアの国々と同じようなあつかいにしたということなんですね、しかもそれは国際的な合意の

履行のために日本はやったということなんですね。どういうことかといいますとね、ちょっといいですか。これは今回の輸出管理というのは一体何だろうかなということを根本的に見ていただきたいのですが、世界はやっばり経済の、あ、こっちですね経済の世界と安全保障の世界、これが重なり合う部分、これが今回の安全保障の輸出管理なんですよ、どういうことかといいますと、かといいますとね、軍事転用可能な物資が危険な国に渡らないようにしよう、と各国で合意して 3,40 カ国集まって国際的な枠組みを作っているんです、それがまさにこの重なり合う部分でどっちかって言うと安全保障が優先する案件なんです、で、これを実施するためのものですから WTO の規定、さっきお話ありましたよね WTO に持っていったという。この経済の方が規定するルールなんです、ここの安全保障に関わってる部分は例外扱いするという規定があるんです、したがって今回の安全保障の輸出管理というのはどこの国も実施してます、韓国自身も実施しているんですよ、そういうところが全部例外扱いになっている。ということはまず知っていただきたいなと思いますね。」と明確に語っていたことは、今回の貿易管理の問題を理解する大きな助けとなった共に、こうしたスタンダードな理解から外れる、あるいは誤解を招くような表現について印象操作の観点から検証する際に、一つの補助線となりうる放送であったと言える。

#### 検証者所感

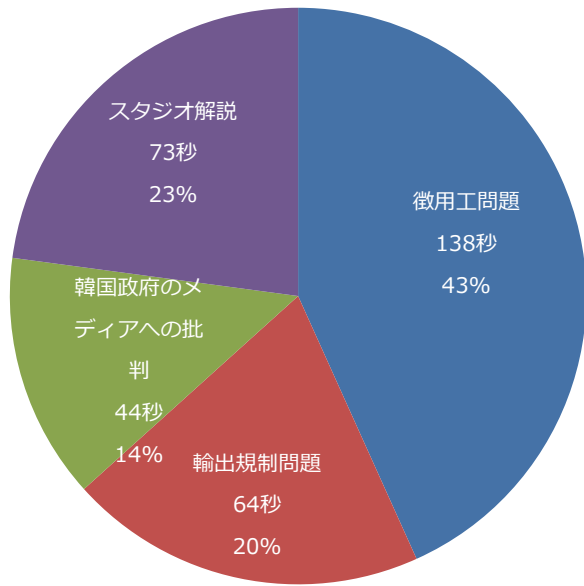
##### ・【異論反論】#日韓関係

日本で暮らしていると、そこまでしてまで不買という行動を貫くような人をほとんど見かけないこともあり（少なくとも検証者の周りではそういう人を見たことがない）、ソウル市民の「ユニクロのジーンズを買いたいが、良心の呵責を感じ控えている。」「妻は日本のビールをよく飲んでいたが 2 週間前からやめている。韓国を見くびるから不買運動が起きる。」というコメントには純粋に驚いた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年7月18日
<p>出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕</p> <p>【ゲスト】三浦まり（教授・上智大学）</p>		
<p>検証テーマ：徴用工訴訟問題、参議院選挙、トランプ大統領の女性議員攻撃、内閣改造・党役員人事改革</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都アニメーション放火事件</li> <li>・徴用工訴訟問題</li> <li>・参議院選挙</li> <li>・台風5号北上中</li> <li>・newstories             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランプ大統領の女性議員攻撃</li> <li>・G7 終了</li> <li>・内閣改造・党役員人事改革</li> <li>・3歳児暴行死事件</li> </ul> </li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・#異論反論 objection 「参院選の争点・憲法改正」</li> <li>・天気予報</li> <li>・サンマ国際会議 漁獲量規制</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徴用工訴訟問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。</li> </ul> <p>今回は悪化している日韓関係問題について、日本の輸出規制措置に対する韓国政府の対応と、韓国政府が自国のメディアに対する批判を行ったことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は319秒で、徴用工問題・輸出規制問題・韓国政府のメディアへの批判・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		





報道の内容は以下の通り。

小川「続いてのニュースです。徴用工訴訟を巡って日本が韓国に求めている仲裁委員会の開催について、間もなく韓国側の回答期限を迎えます。」

山本「一方、輸出規制問題で韓国側は日本の措置を不当な経済報復だとして不服とし、即時撤回を求めることで一致したと発表しました。」

"デモ隊「逆ギレ経済報復に韓国国民は怒っている。」

ナレーター「日韓関係はこじれたまま、出口のない事態に陥っています。」

デモ参加者①「国民の怒りが高まっています。それに反応しない日本に対する国民の気持ちをロウソクで表しています。」

ナレーター「その大きな争点となっている徴用工問題が、今日一つの節目を迎えました。」

西村康稔官房副長官「深夜 24 時までには仲裁に応じる協定上の義務を負っている。日本政府としては仲裁に応じるよう引き続き強く求めていきたい。」

ナレーター「日本政府が韓国政府に求めている仲裁委員会に必要な手続きの期限が迫っているのです。発端は今年 1 月。日本政府は請求権協定に基づく二国間協議を求めたものの、韓国側はこれに応じませんでした。その後、日本政府は日韓両国が選定した委員による仲裁委員会の設置を要請するも、受け入れなかった韓国。さらには第三国が選定した委員による仲裁委員会の設置にも応じませんでした。」

キム・インチョル報道官「日本側が一方向的に恣意的に設定した日程で私たちが縛られる必要があるのか。」

ナレーター「韓国側は仲裁委員会の設置について受け入れられない姿勢を変えませんでした。一方、日韓は輸出規制問題でも関係悪化が続いています。今日午後、1 年 4 か月ぶりに与野党 5 党の代表と会合を開いたムン・ジェイン大統領。」

ムン・ジェイン大統領「重要なことは日本の輸出制限措置に対して、行き過ぎた日本依存にどう対応していくか、共に知恵を集めていくことだと思います。」

ナレーター「会合後、共同声明を発表。日本政府に対し措置の即時撤回や外交的解決を要求することで一致しました。こうした中、韓国大統領府の報道官が記者会見で異例のメディア批判を行いました。」

コ・ミンジョン報道官「これが本当に韓国国民の声を反映したものか尋ねてみたい。」

ナレーター「批判の矛先は韓国の保守系メディアが報じた記事です。『韓国は日本をあまりにも知らなさすぎる。日本は正確に急所を突いた半面、韓国は慌てながらただ腕力を振り回している。』報道官は今回、輸出規制をめぐって日本に理解を示した記事を書いたメディアに懸念を示しました。」

コ報道官「何が韓国と韓国国民のためかを示さなければならないと思う。」

ナレーター「徴用工問題と輸出規制問題が絡み合い、深刻化する日韓の問題。落としどころが見えないまま泥沼化が進んでいます。」

小川「徴用工訴訟を巡る仲裁の回答期限は深夜 0 時ですから、あと 40 分ほどになりますね。ただ、韓国側はこれを拒否する方針だということで、日韓の間はもうずっと平行線が続いていくことになるのでしょうか。」

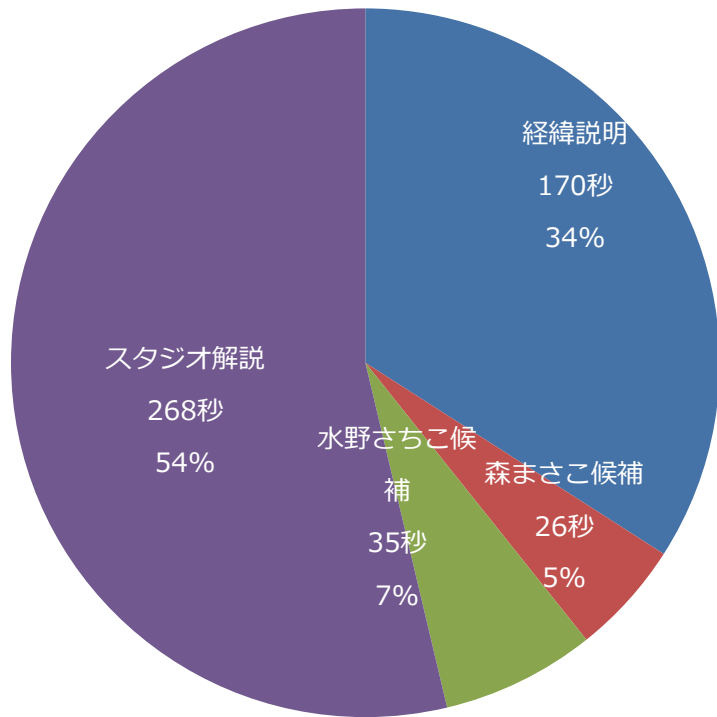
星「韓国側に取材してみますと、この間非公式に日本側にいろんな案を打診したというんですね。この賠償基金について韓国の民間企業と日本の民間企業で基金を作って対応したらどうだという案。それから韓国の政府もお金を出してファンドを作ったらどうかと言うんですね。これは日本側はこの問題は解決済みと言っていますので、呑めるはずがないんですね。それから韓国だけで基金を作るというのもあるんですね。これは日本側は静観しているんですね。私はこれは驚くというかちょっとびっくりするのは、韓国側が日本のことと全く意思疎通がないまま提案しているんですね。ですから、これは大きな溝になっているということで、とりあえずこれは韓国国内の問題ですので。韓国が国内的に対応してもらえないということなんですね。」

時間配分を見ると比較的公平であると言える。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・参議院選挙→結論：放送法第四条第一項四号に抵触。

今回は参議院選挙について、女性議員が増えない問題について問題提起をする形で報道がされた。今トピックに充てられた報道時間は 499 秒で、経緯説明・森まさこ候補・水野さちこ候補・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「続いてのニュースに参ります。3日後に迫った参議院議員選挙ですが、女性候補者の割合が全体の28.1%と過去最高を更新したんです。その一方で、女性議員の比率を世界と比べたものですが、世界でも最低レベルとなっているんです。世界では163位というのは、193か国中ですからかなり衝撃的な数字ですけども。なぜ女性議員が増えないんでしょうか。」

ナレーター「参院選の注目選挙区の一つ、福島選挙区。」

森まさこ候補「(大臣の) 経験をさせていただいたその知識、経験、人脈を生かして。」

ナレーター「自民党の現職、森まさこ候補。対するのは。」

水野さちこ候補「無名の新人候補ではありますが、この地から、福島から安倍政権にNOを突きつけて。」

ナレーター「新人の野党統一候補、水野さちこ候補です。女性候補同士での与野党激突となっていますが、女性候補の割合はまだ多くはありません。去年、5月衆院参院や地方議会の選挙で男女の候補者を均等とすることを目指す『政治分野の男女共同参画推進法』、いわゆる候補者男女均等法が可決・成立しました。法律の施行後、初の国政選挙となる今回、候補者370人のうち、女性は104人。女性候補の割合は28.1%と過去最高を更新しましたが、目標の50%には遠く及びません。政党別で見ますと、50%を超えたのは社民党と共産党です。女性議員が少ないことについて街で聞きました。」

市民①「産休とか細かいところまで見ると、全然女性が働きやすい社会になれていないなど。女性自身が立ち上

がって声を挙げないといけないんじゃないかなと。」

市民②「それはたぶん今までの男性優位だった社会の名残だと思う。女性が自分たちで政治に参画して女性ならではの意見を発信していきたいと思えばおのずと変わってくると思う。」

ナレーター「かつて男女共同参画担当大臣を務め、現在自民党の女性活躍推進本部長でもある森まさこ候補は国政に女性が少ないことへの弊害について。」

森まさこ候補「セクハラについては今回法律を通したが、やっぱりなかなかそういう分野も女性議員が少ないと（法案が）通りにくい。スピードが遅いというのはあると思います。」

ナレーター「一方、森氏と議席を争う新人の水野さちこ候補は初めて県議に立候補したときに身内の説得で苦労したといいます。」

水野さちこ候補「やっぱり大変です。女性の場合は自分が出たいからといって出られるものではなく、やはり政治は男性がするものというのが。」

ナレーター「女性議員が増えるにはどのような課題が残されているのでしょうか。なお、福島選挙区では諸派の田山雅仁氏も立候補しています。」

小川「スタジオには女性の政治参画を研究している上智大学の三浦まり教授に来ていただきました。よろしくお願いいたします。三浦先生は去年の5月に成立した候補者男女均等法を取りまとめたおひとりでありまして、この法律が成立してから今回が初めての国政選挙ですね。28%というのはどのように受け止めていらっしゃいますか。」

三浦まり教授「この法律は各政党に対して候補者を擁立する際には男女の数の均等を目指すことを求めているわけですが、その効果はあったと受け止めています。全体で28%ということですので、それは政党によって努力している政党。それからもう少し足りないところはありますが、全体としてはこの法律があったからこそ追い風が吹いているなと思います。」

小川「この法律が成立した背景にはそもそも女性議員がなかなか増えないということがあったわけです。こちらの参議院の女性議員の推移なんですけれども、選挙が始まって5%ほどの低い状態から平成になって初めて10%を超えたと。それから30年経って今でもおよそ2割程度ということで、なかなか進んでいるというにはちょっとずつですけれども、言い難い状況ですね。」

三浦「そうですね。世界の平均も24%になっていますから、そこに向けてちょっとずつ上がっているとはいえ、やはりスピード感としては遅いと言えそうです。」

小川「ただ、やはり女性議員を増やしていかないといけない。それにはどういった理由がありますか。」

三浦「女性議員を増やす理由ということですか。最近の、とりわけ国内の政治課題として少子化問題とか高齢化。あるいは人口減少ということがあると思うんですけれども、ただこういった日本の社会を持続可能な社会に変えていくためには男女の役割を見直して行って、女性が働きながら、子供を産み育てやすい社会に変えていく必要があると思います。もちろん日本は今その方向に向かっているわけですが、それをもっと早く進めていくためには当事者である女性が実際に意思決定に参画をして変えていくということが不可欠だと思います。」

星「政治の現場を見てきたものとしては、男性目線で法律を作るというのは限界に来ていると思うんです。介護にしても、子育て、教育の充実にしても。そこはやはり女性の力が必要になってくると思います。」

三浦「そうですね。やはり男性と女性で経験の仕方がいろいろと異なると思うんですね。介護ですとか、子育て。

いろんな意味であるいはセクハラの問題もそうなんですけれども、男性と女性では経験の仕方が違うとすると、その違いをきちんと政策に反映しないとやはり良い政策になっていかないということは言えると思います。」

小川「先日も番組でアフターピル、緊急避妊薬について取り上げたんですけども、その時に厚労省の検討会で12人の参加者のうち、女性はたった一人であったということを知って、政策立案の裏には、女性の問題、女性が服用する薬の問題であるにも関わらずそういった構成で組まれているということに非常にショックを覚えたんですが。」

三浦「そうですね。そこがきちんと男女半々であったならば、そういった決定にはなっていないと思うんですね。そういった問題はアフターピルに限らず、様々な問題で起きていると思います。」

小川「では、なぜ女性議員が増えないのか、そして増やすためにはどうしたらいいのでしょうか。」

三浦「やはり政治家になるためにはいろんな障壁があるわけなんですけれども、男性と女性では障壁が違うんですね。女性の方が障壁が高いということはあると思います。家族の支援がなかなか得られないとか、政治活動をするときに時間がかかりますが、女性は時間が足りない。あるいは政治は男性のものという意識もあると思います。そういった障壁が女性の方が高いので、そういったことを理解して女性が越えられるような努力を政党がしていくということがとても重要だと思っています。」

小川「そのためにも少しずつ女性の割合を増やしていくと。まずは景色を変えて意識を変えていくということですね。」

三浦「そうですね。政党が努力すれば確実に変わっていきますから、そこに期待したいと思います。」

小川「三浦さんにお越しいただきました。ありがとうございました。」

今回は参院選の最中という放送日の事情を踏まえ、各候補者同士の紹介された時間配分に着目して時間計測を行った。時間配分の結果を見ると、比較的公平な配分であると言える。報道の内容についても、誤解を与えるような内容ではなく、問題はないと思われる。

ただし、それぞれの候補者をピックアップする形で問題提起をするのであれば、各候補者の政策比較といった形を出した方が参院選の特集という形には沿うものになると思われる。今トピックでは女性議員の比率が増えないことに問題意識を持つ両候補者がその問題についてどのような政策を打ち出しているかが分からないままであり、参院選に関わる内容とは言い難い。この意味で今トピックは放送法第四条第一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に抵触していると考えられる。

ただし、今トピック内の小川キャスターの発言の中で、「アフターピル」について触れられたことは、関わりのないと思われる二つのテーマを関わらせ、議論に深みを持たせたという意味で評価できる。

- ・トランプ大統領の女性議員攻撃→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はトランプ大統領が民主党所属の女性議員に対して連日攻撃的な発言をしていることについて伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は51秒で、経緯説明のみの内容であった。

報道の内容は以下の通り。

山本「連日ツイッターや会見で女性議員を攻撃しているトランプ大統領。今度は多くの支持者たちの前で。」

トランプ大統領「彼女たちはいつも我々にこの国をどうしろこうしろと言うが、アメリカが好きでないなら出て行ってもらえばいい。」

## NEWS23 週刊報告 詳細版

山本「さらにトランプ氏がソマリア出身のオマル下院議員を名指しで攻撃すると。」

支持者「(彼女を) 送り返せ！送り返せ！送り返せ！」

山本「送り返せの大合唱。女性議員に対する発言の非難決議が 14 日に下院で可決されたばかりですが、トランプ氏の攻撃は 4 日連続及んでいます。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・内閣改造・党役員人事改革→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は安倍首相が内閣改造および党役員人事の改定を 9 月中旬に行う方向で検討していることが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 23 秒で、経緯説明が主な内容であった。

報道の内容は以下の通り。

山本「安倍総理が内閣改造と自民党役員人事を 9 月中旬に行う方向で検討に入ったことが複数の政府与党関係者への取材で分かりました。8 月下旬の G7 サミットや、9 月上旬の日ロ首脳会談といった外交日程の後に着手する見通しだということです。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし。

検証者所感

特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月19日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：日韓請求権問題、有志連合説明会が開幕		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメ制作会社放火、犠牲者が34名に</li> <li>・日韓請求権問題を巡り、両国間の応酬が続く</li> <li>・宮迫博之さん、芸能界引退の意向も</li> <li>・「ファクトフルネス」データから世界を見る</li> <li>・息子刺殺の父親に懲役13年</li> <li>・中国河南省のガス製造工場で爆発事故、死者2名</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・有志連合説明会が開幕</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓請求権問題：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>今回の報道は、日韓請求権問題に関して両国間の応酬が続いていることについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は200秒だった。</p> <p>なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>スタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り返された。</p> <p style="color: red;">小川キャスター「河野外務大臣はカメラの前で無礼と発言したことは異例だと思いますが」</p> <p style="color: red;">星キャスター「そうですね、話題になっている日韓の請求権協定をよく読んでみますと、「両国の紛争はまず外交上の経路を通じて解決するものとする」と書いてあり、つまり外交が大事ですよということなんです。今回、仲裁問題で韓国側の対応に問題があったのは確かなのですが、本来カメラの前で相手国の大使をなじることよりも、外交でどうやって解決するか、知恵を絞ることが大切だと思いますね」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有志連合説明会が開幕：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>今回の報道は、米国国務省内においてホルムズ海峡の安全確保に向けた有志連合の説明会が開催されたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は75秒だった。</p> <p>なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p>		
<p>最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>特になし</p>		

## NEWS23 週刊報告 詳細版

### 検証者所感

- ・番組構成

参議院選挙の投票日前の最後の放送日であったにも関わらず、選挙戦に関する報道が一切なかったことが甚だ疑問である。